

ネイティブパパイヤラテックス キモパパイイン

Cat. No. NATE-0133

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 キモパパイインは、パパイヤ (*Carica papaya*) のラテックスから分離されたプロテアーゼです。これは、脊椎の腰椎椎間板ヘルニアを治療するために使用される阻害剤です。キモパパイインの注射は通常、全身麻酔ではなく局所麻酔下で行われます。単一の椎間板に投与する投与量は2から4ナノカタルで、患者1人あたりの最大投与量は8ナノカタルです。この手技は、ケモニキュレオリシスと呼ばれます。

用途 パパイヤラテックスからのキモパパイインは、腸内線虫ヘリグモソモイデスに作用する天然植物システインプロテアーゼの殺虫効果を評価する研究に使用されました。パパイヤラテックスからのキモパパイインは、ウサギのキモパパイイン抗体の調製と同定を調べる研究にも使用されました。この酵素は、ビーズから培養CD34+細胞を分離するために使用されました（130単位/mLで2分間、3回繰り返し）。キモパパイインとプロナーゼは、人間の腸組織の消化に効果的であることがわかりました。この酵素は、ウサギの肺細胞の消化のために、プロナーゼ、コラーゲナーゼ、エラスターゼ、DNAse、およびカタラーゼと共に、カルシウム・マグネシウムフリーのクレブス血清代替物中で0.05%の濃度で使用されました。また、抗体コートされたマイクロスフェアに結合した骨髄から神経芽腫細胞を放出するためにも使用されました。

別名 キモパパイイン A; キモパパイイン B; キモパパイイン S; EC 3.4.22.6; 9001-09-6; キモジアクチン

製品情報

由来	パパイヤラテックス
形態	凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.4.22.6
CAS登録番号	9001-09-6
活性	> 2.0 ユニット / mg タンパク質
組成	タンパク質、> 75% E1%/280
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 6.2の条件下で1分あたり1.0μmoleのBAEEをNα-ベンゾイル-L-アルギニンに加水分解します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C